

反戦反核反原発！集会の 同志1名不適補系弾

全学の学生・教職員の皆さん！ 昨日の「核も戦争も原発もごめんだ！ 安保をつぶせ！」6.13京都市民集会において、デモ隊列に対する国家権力－機動隊の暴力を伴った妨害さらには参加者一名を不当にも逮捕するという弾圧を満身の怒りを込めて糾弾していきたい。

3.21広島集会や5.23東京集会に見られる様に、反戦・反核をかかげた大きなうねりが生まれてきている。しかし、この様な大きなうねりを国連軍縮総会SSDⅡのみへ収束させていこうという動きがある。しかし現実に日本内部においては核が存在し、リムパック'82に加わる等自衛隊が増強され、原発においては日々アラートニウムが生産され、さらには高速増殖炉もんじゅ建設など原爆を作り出すことも可能な体制が作り出されている。我々の反戦反核斗争は反基地－反安保として反原発と斗うものでなければならない。

我々京大5.22-23実行委はこの間、学内における帝国主義的大学再編－管理強化をうちやぶる斗いを足場にしつつ、全国各地で進められている反基地・反原発斗争と強く連帯することを追求して、様々な行動を提起してきた。

昨日の6.13集会も京都での様々 反戦反安保を斗う仲間と共に、その力を、敦賀など

若狭湾を中心として建設が進められている原発に対する抗議行動や、宇治における自衛隊基地反対そして日韓連帯等日帝の国内再編・総合安保路線へと対峙していくものとして開かれたものであった。そして雨にもかかわらず300名もの斗争仲間が集会に結集してきたのである。

しかしその様な現実の日本内部で進められている戦争準備に対して斗争集会があったからこそ、国家権力は恐怖し機動隊の暴力テロ・リンチを用いて我々の行動を圧殺せんとしてきたのだ。我々の声は雨の中で多くの市民の共感を集めていこう。しかし現実に日本内部においては核が存在し、リムパック'82も終わりに近づいた段階で権力はその本質を露わにし、機動隊が我々のデモをとりまき殴る蹴るの暴行を加える中で同志一名を不当にも逮捕し、連れ去ったのである。

全学の皆さん。我々はこの様な不当弾圧に属することなく同志を奪還し、さらに7.2もんじゅ公開ヒアリング阻止、7.4三里塚現地斗争を斗っていこうと決意している。

多くの方が、我々と共にこの輪を広げていくことを訴える。7.2-4連続斗争に決起せよ!!

5.22.23実行